

教科名：日本国憲法（講義 2単位）		担当教員名：阿部真樹子（単独）	使用テキスト：なし
<p>授業の到達目標及びテーマ： 近代立憲主義憲法の目的、歴史を学び、立憲主義・民主主義・基本的人権とはいかなるものかを具体的に探究することで、身近な問題の一つひとつについて憲法的感覚で捉えることができるようになることを目指す。</p>			
<p>授業の概要： 各人の考え・意見を述べる双方向的な授業によって憲法を深く考える授業展開を目指す。</p>			
回	項 目	内 容	
1	法律とは何か	法律とは何かを探る。法律の目的と法と法律、道德の違いを学ぶ。	
2	憲法とは何か	法律は国民の自由を縛る側面があり、憲法は法律を作る国家権力を制限して国民の自由を守るものであること、憲法改正の動きについても昨今の動きを検討する。	
3	憲法の特質について	近代憲法の3つの特質について歴史的背景から学びを深める	
4	立憲主義と現代国家について	法の支配と法治国家について学ぶ	
5	立憲主義と現代国家について	立憲主義の意義、現代国家における立憲主義の意味を考える	
6	国民主権について	日本国憲法の基本的原理としての国民主権について、なぜ基本的原理となったのかを歴史的背景を踏まえながら学ぶ。	
7	国民主権について	国民主権と天皇制との関係について学ぶ	
8	民主主義について	民主主義とは何か、日本国憲法ではどのような形で民主主義を実現しているのかを学ぶ	
9	基本的人権の意味について	人権宣言の歴史を概観し、基本的人権の意味・内容・性質・主体について学ぶ	
10	基本的人権の限界について	基本的人権に限界はあるのか、あるならどのような場合か、その理由は何か、基本的人権の制約について憲法違反か否かを判断するのはどの機関かについて学ぶ。	
11	法の下での平等について	平等主義の意味、法の下での平等の意味について具体例に沿って学ぶ	
12	自由権全般について	自由権全般についてその種類と内容を学ぶ	
13	自由権以外について	受益権、参政権、社会権について学ぶ	
14	権力分立と裁判所について	権力分立の意味を押さえ、裁判所の今日的役割について学ぶ	
15	平和主義とまとめ	日本国憲法の基本原理である平和主義について学び、これまでの学びの総括を最後に行う	
16	期末試験実施		
<p>【参考書・参考資料】</p> <p>憲法 第五版（芦部信喜、高橋和之 補訂） 憲法の本（浦部法穂）</p>			
<p>【学生に対する評価方法】</p> <p>レポート、筆記試験（期末試験）の総合評価</p>			